

※本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。



個人投資家向け会社説明会

2025年7月5日（土）

東証スタンダード 6357

三精テクノロジーズ株式会社

企業理念

社業を通じ、笑顔と感動そして安全で快適な空間を提供することで社会に貢献します。

誠実を旨とし、自由闊達で明るく働きやすい会社になります。

常に技術の開発と向上に努め、グローバルなオンリーワン企業を目指します。

目次

1 会社概要

・ ・ ・ P.4～

2 事業内容

・ ・ ・ P.7～

3 成長戦略

・ ・ ・ P.16～

〈参考〉業績概要

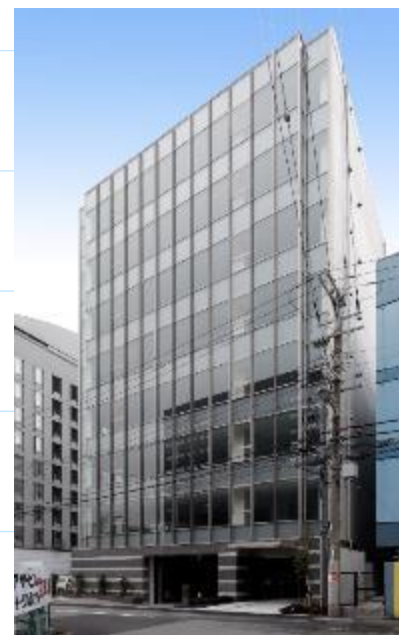
・ ・ ・ P.29～

1

会社概要

会社プロフィール

商 号	三精テクノロジーズ株式会社 (Sansei Technologies, Inc.)
本 社	大阪府大阪市淀川区宮原4丁目3番29号
設 立	1951年2月27日
資 本 金	32億円 (2025年3月期 連結)
売 上 高	618億円 (2025年3月期 連結)
従 業 員 数	1,382名 (2025年3月末現在)
上 場 市 場	東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード	6357
事 業 内 容	遊戯機械、舞台設備、昇降機的设计・製作・施工・保守・改修



沿革

- ・ 1951 年：エレベーターや遊戯機械等の製造販売を主たる業務として創業
- ・ 1952 年：舞台機構の設計製作を開始、日本初のローラーコースターを製造
- ・ 1970 年：大阪万博では、ダイダラザウルス（ローラーコースター）や動く歩道等を納入し大きく飛躍
- ・ 2012年以降：当社と関連のある事業を有する国内 / 海外企業を子会社化

創業当時

- 1951：三精輸送機株式会社として創業
- 1952：舞台機構の設計製作を開始
- 1952：日本初のローラーコースター製造
- 1970：大阪万博にて大きく飛躍



日本初のローラーコースター

近年

- 2012：特殊美術で国内パイオニアのテルミックを子会社化
- 2012：スリルライドに強みのある 米国 S&S WorldWide社を子会社化
- 2018：ローラーコースター大手企業である オランダVekoma社を子会社化
- 2023：テーマパーク等のコンセプト提案等のカナダFORREC社を子会社化



テルミック納入演出装置

2

事業内容

事業概要

当社グループは、遊戯機械、舞台設備、昇降機の3事業部門において、多様な製品の設計・製作・施工・保守・改修を行う



昇降機事業 75億円

- ・エレベーターなど



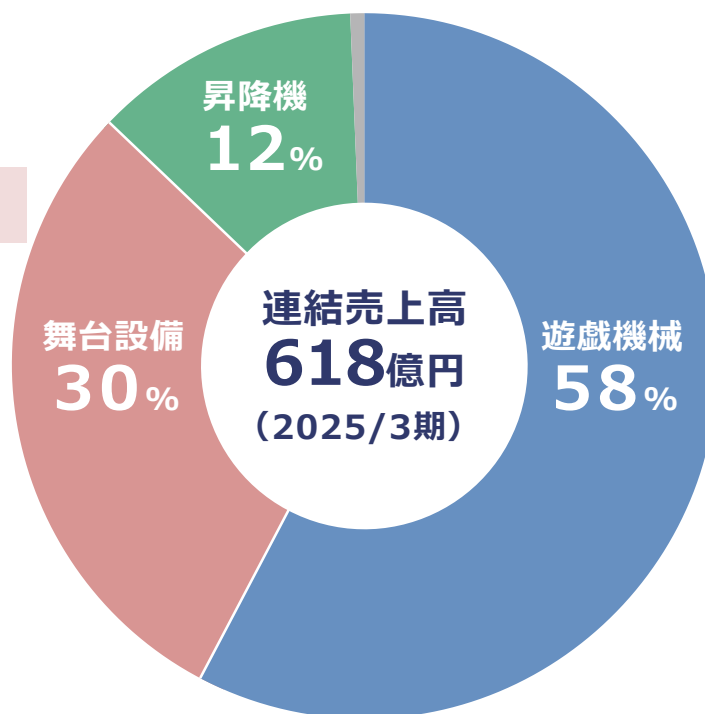
舞台設備事業 184億円

- ・劇場、文化ホール等における吊物機構、床機構、音響反射板など
- ・テレビ、イベント、コンサート等における電飾や機械装置など



遊戯機械事業 358億円

- ・ローラーコースター、ダークライド、急流すべり、タワーライドなど
- ・テーマパーク向けコンセプト提案、デザイン提供



業績の推移

積極的事業拡大、グローバル展開

2012年 国内で仮設舞台装置等を手掛けるテルミックを子会社化

テルミック

2012年米国でM&A

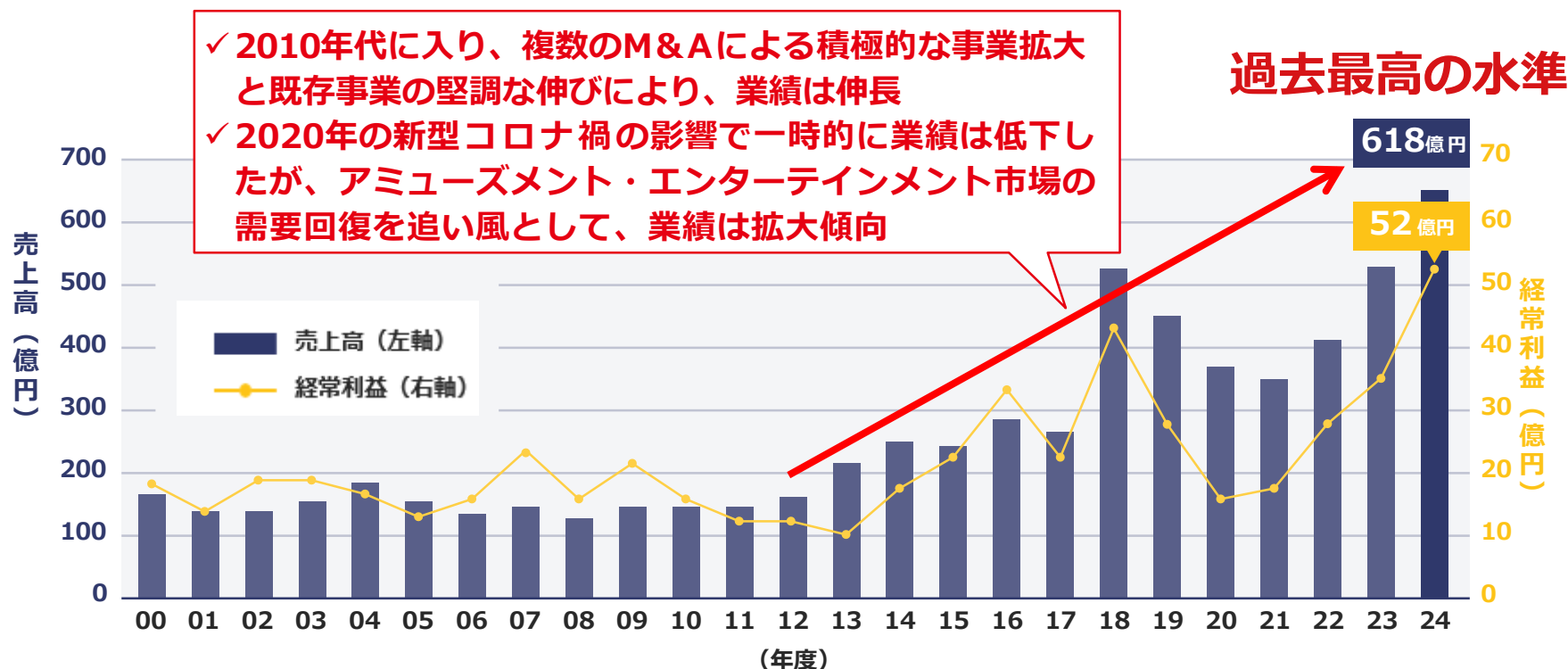
S&S

2018年オランダで M&A

Vekoma

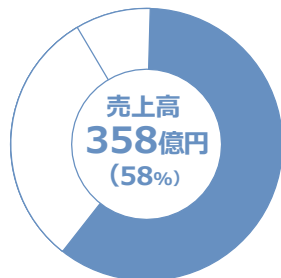
2023年カナダでM&A

FORREC





遊戯機械事業



当社グループの強み

- 国内外大手パークへの納入実績(Walt Disney、Legoland、Six Flagsなど)
- 製品ラインナップが豊富（含むS&S社、Vekoma社）
- グローバルベースでの市場対応、欧米、アジアでの生産
- パークのコンセプトデザイン、機械の設計・製作から販売・据付までの一気通貫体制
- グループ合算でローラーコースターの年間販売台数は世界のトップクラス

〈納入実績〉

ナガシマスパーランド「白鯨」



サンリオピューロランド「ポートライド」



Legoland Korea「LEGOLAND® Lookout」



Fårup Sommerland「Fonix」



Hersheypark「Triple Tower」

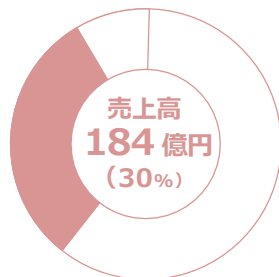


Port of Entry at Universal's Islands of Adventure





舞台設備事業



当社グループの強み

- 豊富な新設・改修実績と、それに裏打ちされた技術力、施工スキル
- 自社生産設備と自社開発した制御システムにより、顧客ニーズにフレキシブルに対応
- 保守点検と併せた一貫サービスを提供
- 日本国内最大手（公共施設ホール、民間劇場とも）

〈納入実績〉

- ・ 全国の公共施設、ホール
- ・ 国立劇場・新国立劇場
- ・ 歌舞伎座・フェスティバルホール
- ・ 四季[春][秋][海][自由][有明四季]
- ・ 宝塚大劇場・帝国劇場

THEATER MILANO-Za 舞台機構



宮崎県立芸術劇場 舞台機構



コンサート 演出装置

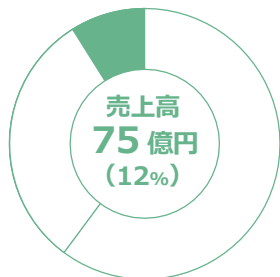


モーターショー 演出装置





昇降機事業



当社グループの強み

- 官公庁向けを中心に多数の新設・改修実績
- 標準エレベーターを中心に納入し、安定した品質を維持
- 保守点検と併せた一貫サービスを提供
- 全国に24 時間365日の保守体制を構築

〈納入実績〉

乗用エレベーター



階段室型エレベーター



荷物用エレベーター



ダムエレベーター





その他（特殊装置）

国技館（大相撲屋形昇降装置）



ボーディングブリッジ 併設エレベーター



乗用人型変形ロボット「SR-01」



4足歩行型ライド「SR-02」



当社の特徴・強み ① グローバル展開

- 日本、オランダ、米国、カナダでグループ会社をグローバルに展開
- 高い技術力と豊かな発想力で、高品質な製品・サービスを世界中のお客様に提供、海外売上高は全体の約50%を占める



テルミック(日本)

コンサート・テレビ番組・舞台・イベント等、常に進化し続けるエンターテインメントに対応する仮設舞台設備・電飾装置・映像コンテンツ等をご提供いたします。

S&S Worldwide(米国)

スリル感あふれるライドを世界中に展開しています。ローラーコースター、スイング、タワー等の設計、製作、据付、アフターサービスをご提供いたします。

Vekoma Rides(オランダ)

高品質で革新的なコースターで知られるグローバルなリーディングカンパニーの一つです。ローラーコースター等の設計、製作、据付、アフターサービスをご提供いたします。

FORREC(カナダ)

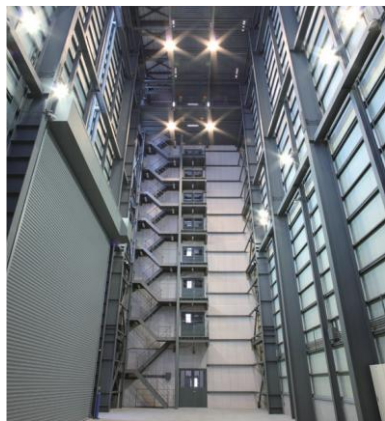
世界中の遊園地、テーマパーク、商業施設に対して、魅力あふれるコンセプト提案、デザイン計画、コンサルティングサービスをご提供いたします。

当社の特徴・強み ② 一気通貫体制を支える神戸事業所

- 神戸事業所は、当社のテクノロジーの根幹を成す施設
- 設計棟・研究棟・工場棟を有し、研究・開発の結果を設計・製作にフィードバックすることにより、高品質のものづくりを実現。



敷地面積：56,300m² 建物面積：19,560m²



3

成長戦略

＜中期経営計画 2026/3期～2028/3期＞

中期経営計画の概要

計画名称 / 期間	新中期経営計画 2026/3期 ~ 2028/3期(3年間)				
テーマ	動かす技術で社会に笑顔を“ TEAM Sansei ”の深化と進化! *TEAM=Theater (舞台)、Elevator (昇降機)、Amusement (遊戯)、Maintenance (保守・改修)				
基本方針	▶ 既存 3 事業の事業拡大と採算性向上				
	 遊戯機械事業 FORRECの活用を含め、一段のグループ連携により販売力、製品競争力を高める。  舞台設備事業 新設、改修、仮設の大口案件に着実に対応、アリーナや新分野への取組みにより受注、売上の成長を図る。  昇降機事業 安定収益事業として、保守改修と合わせて、収益力の向上を目指す。				
中計目標 (2028/3期)	売上高	経常利益	経常利益率	当期純利益	ROE
	750億円	71 億円	9.5%	50 億円	10%

- ▶ グループ各社との連携(国内、海外)
- ▶ 新たな柱となる事業分野への参入(M&A含む)
- ▶ 資本効率性を一段と意識した経営
- ▶ 目標:ROE10%、PBR 1 倍以上

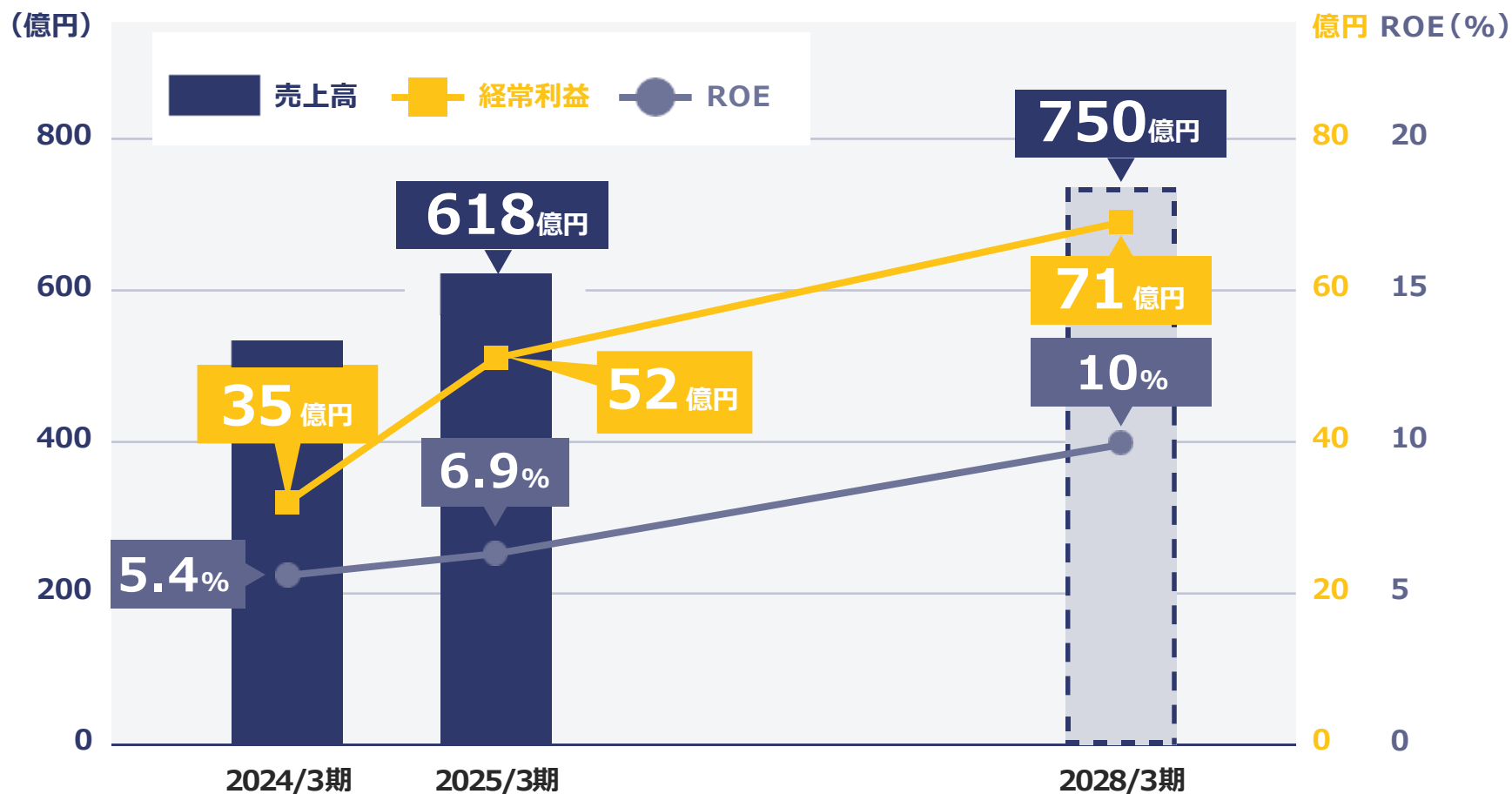
業績計画

売上高750億円

経常利益71億円

ROE10%

PBR1倍以上

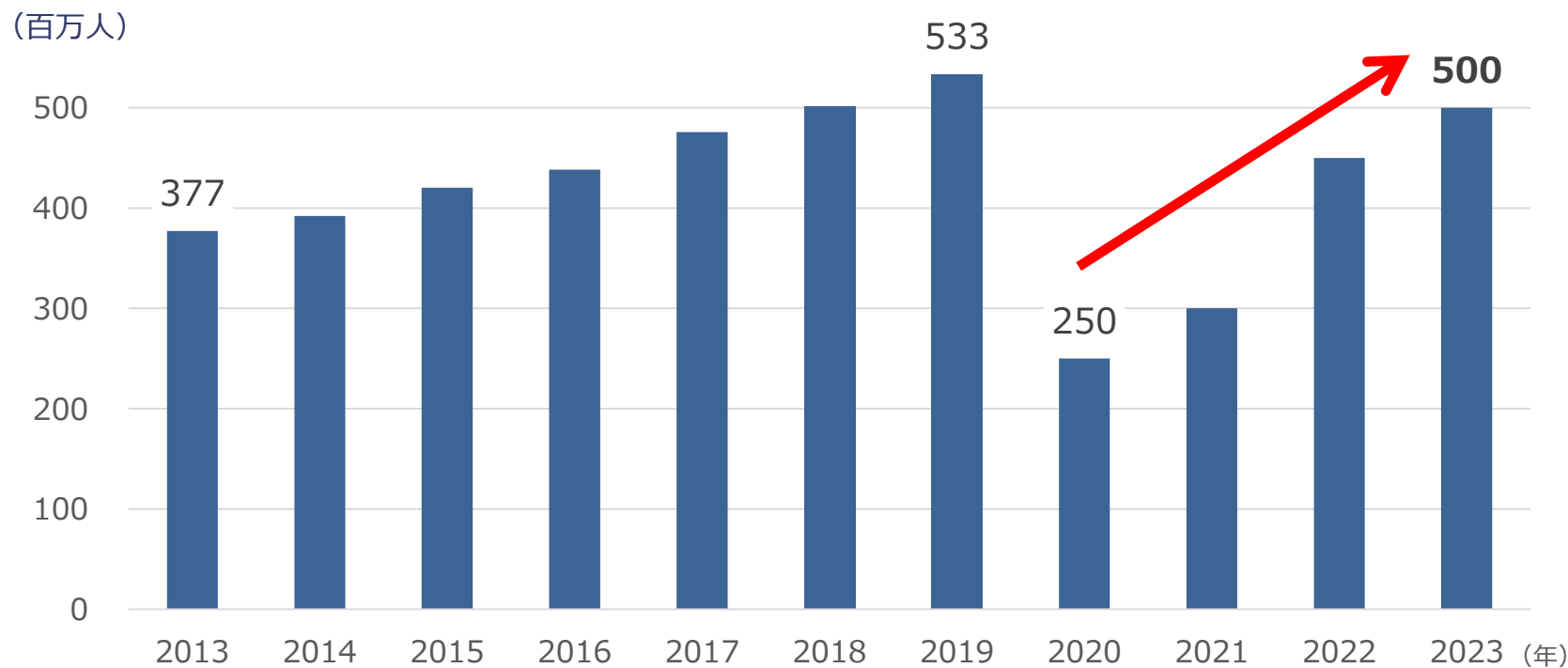




市場環境：遊戯機械事業

- 世界のテーマパークの入場者数は、2023年にはコロナ禍前の水準に回復
- アジア（特に中国・日本・韓国）は新規開業と再投資が活発。中東やインドなど新興市場での展開も注目され、今後も成長期待が高い

世界トップ25テーマパークの年間総入場者数の推移



出典：Themed Entertainment Association and AECOM「Theme Index and Museum Index 2023」



成長戦略：遊戯機械事業



市場環境

- 国内外テーマパークの来場者数は増加しており、投資は堅調に推移する見込み
- 成長市場として、米国、中東、東アジア地域に期待

グローバルなアミューズメントライド企業としての事業拡大と安定化

01

(S&S、Vekoma、FORREC)
グループ間協働による
国際ビジネスの
競争力の強化

02

ターゲット別の
製品ラインアップ整備と
製品開発

03

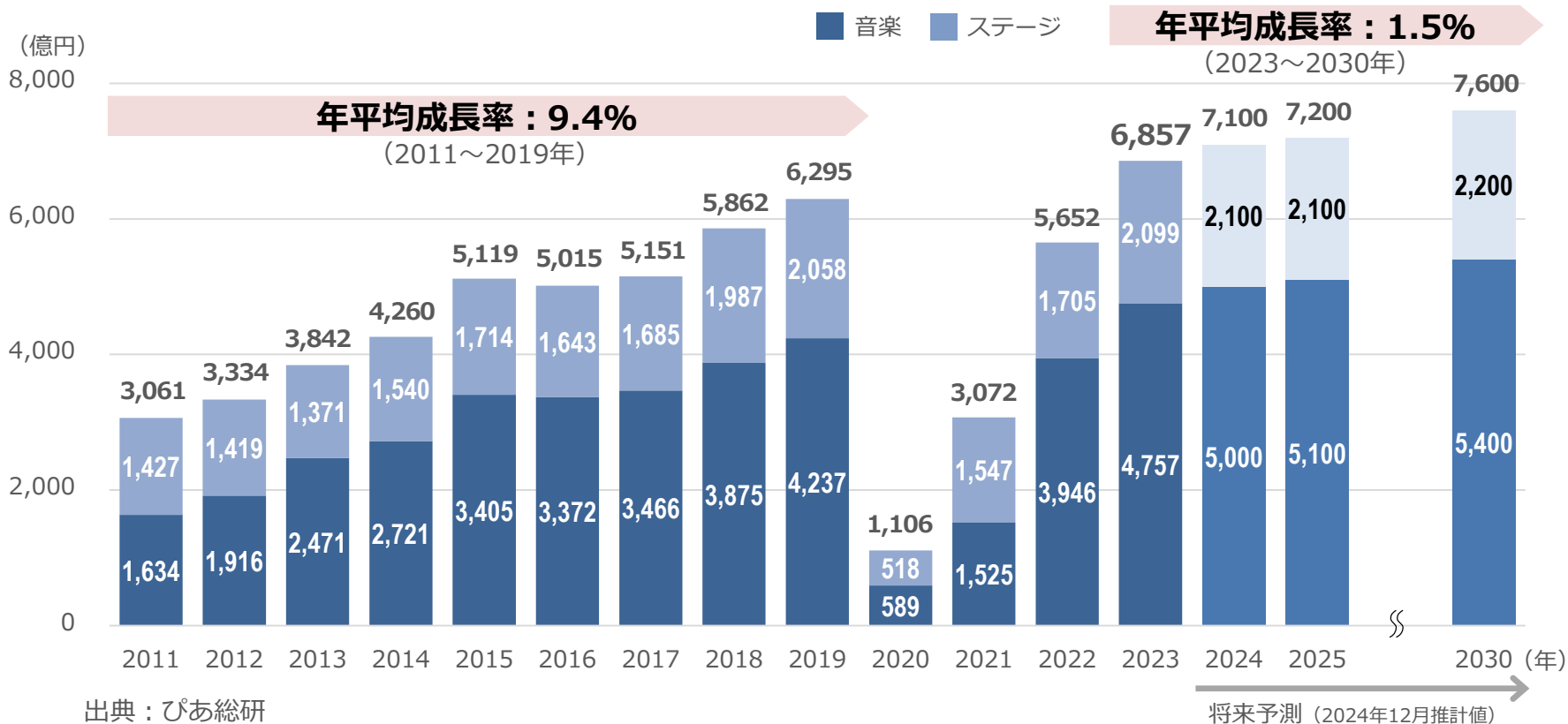
高度化するプロジェクトの
要求水準に見合う
技術力と組織力の向上



市場環境：舞台設備事業

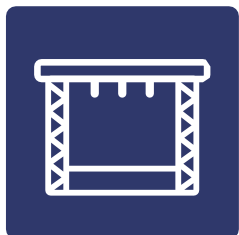
- コロナ後のライブ・エンターテインメント市場は順調に回復し、コロナ前の2019年を上回り7,000億円に迫る勢いで過去最高を更新
- 今後も順調に拡大し2030年の市場規模は7,600億円になると予測

ライブ・エンターテインメント市場規模の将来予測





成長戦略：舞台設備事業



市場環境

- 新設需要に加えて、既存施設の改修需要が堅調に推移すると期待
- コンサート・スポーツイベント関連市場は、引き続き好調を維持する見込み
- コンサート・演劇等の用途ごとに特化したコンセプト型劇場が増加する傾向
- 演出の多様化で装置や操作システムに関するニーズが高度化

総合エンターテインメント企業グループとして事業拡大

01

営業力強化により
改修需要に確実に対応

02

拡大が見込まれる
コンサート需要の獲得

03

新しい成長分野の
見極めと事業の拡大



成長戦略：昇降機事業



市場環境

- 新設案件は引き続き安定的に推移
- 加えて当社案件の改修需要は、今後も増加する見込み

安定収益事業としての事業拡大

01

新設案件に加え
増加する改修需要に
確実に対応

02

生産性向上と
一段の安全性向上を
追求

03

着実な事業拡大に向け
製品開発や
他社との協業を推進



経営基盤の強化



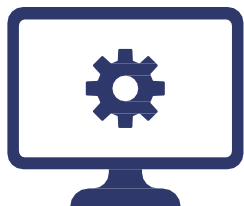
生産能力向上に向けた設備投資

- ・ Vekoma 新オフィス・工場の建設
- ・ スマートで働きやすい環境の整備



国内外グループ会社との 人材・技術交流における製品開発向上

- ・ 国内外の市場における、販売力、製品競争力の強化
- ・ 技術開発、クリエイティブ人材の育成



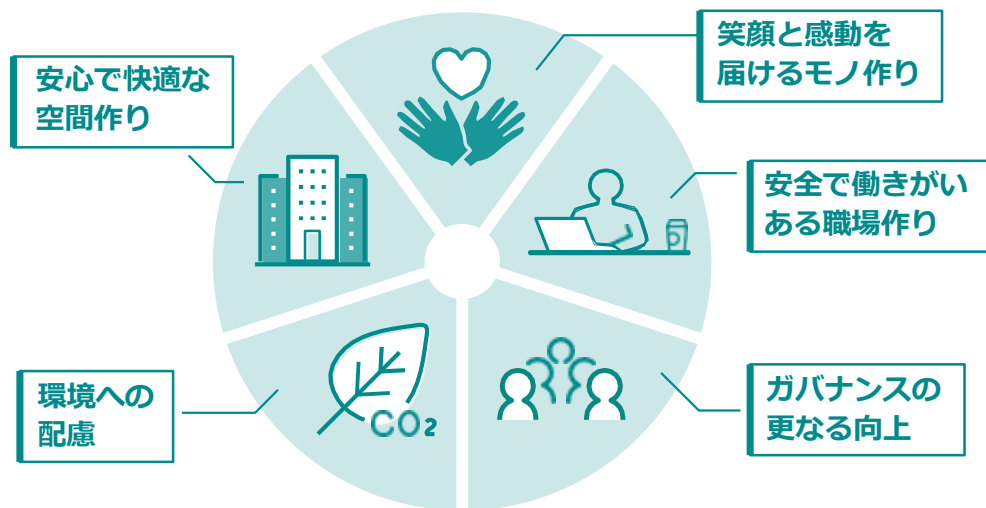
情報システム機能強化 (DX推進及びリスク管理体制強化)

- ・ AI、自動化技術の活用による生産性の向上
- ・ 高度化するサイバー攻撃に対応した情報セキュリティ強化

サステナビリティへの対応

基本的な 取り組み方針

世界中のお客様に笑顔と感動、そして安全で快適な暮らしを提供することを通して、持続的な発展と社会課題の解決に貢献し、中長期的に企業価値を向上させていく。



ESGを意識した業務への取り組み、
人材育成、働く環境の整備等を通じた、
サステナビリティ対応の推進

人材への投資

- ・ 各部署における中核人材の育成強化
- ・ 社員モチベーションアップ及び生産性向上のための人事制度改革
- ・ 従業員のワークライフバランスの充実（働きやすい労働環境の整備）

環境対応への取り組み

- ・ 国内連結全体での2035年温室効果ガス削減目標、2013年比△60%を目指す。（スコープ1、2）
- ・ 太陽光発電の拡大、設計・生産・施工での環境負荷軽減への取り組み実践

株主還元（配当政策）

株主の皆さまへの利益還元を重要な経営課題の一つと考え、

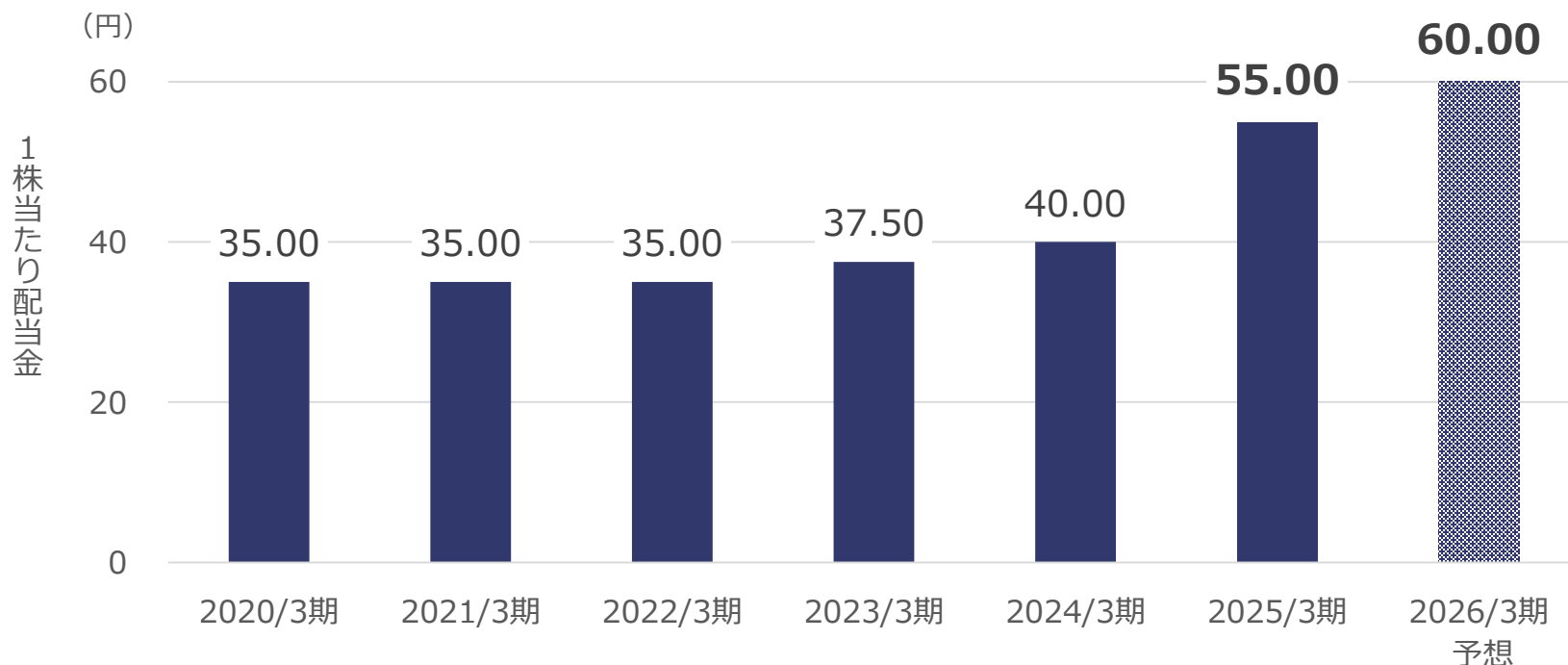
①長期かつ安定的な利益還元

②当期利益の水準

③手持ち受注工事の期末残高

の3点を総合的に勘案し配当を決定。

配当は9月中間配当及び3月期末配当の年2回実施



資本コストや株価を意識した経営の実現について

課題

- 海外子会社のれん償却負担（円安により増大）を上回る収益力の向上
- 原材料費及び人件費の高騰に対応する付加価値の向上
- 金利上昇、株価変動に伴う資本コストの上昇傾向

資本収益性を意識した事業戦略実行（中期経営計画）

収益性の向上

株主還元の拡充

IR活動の強化

資本コストを上回る資本収益性の達成

持続的な成長と中長期的な企業価値向上

目標：ROE 10%、PBR 1倍以上

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）に当社製品納入

- EXPOホール（シャインハット）に吊物機構と映像装置を納入
- 大阪ヘルスケアパビリオン「Nest for Reborn」内に未来への移動体験を提供する『ミライのライド』を納入

● EXPOホール（シャインハット）



協力: 2025年日本国際博覧会協会



協力: 2025年日本国際博覧会協会

● ヘルスケアパビリオン



提供: (公社)大阪パビリオン 協力: 2025年日本国際博覧会協会



提供: (公社)大阪パビリオン

〈参考〉業績概要

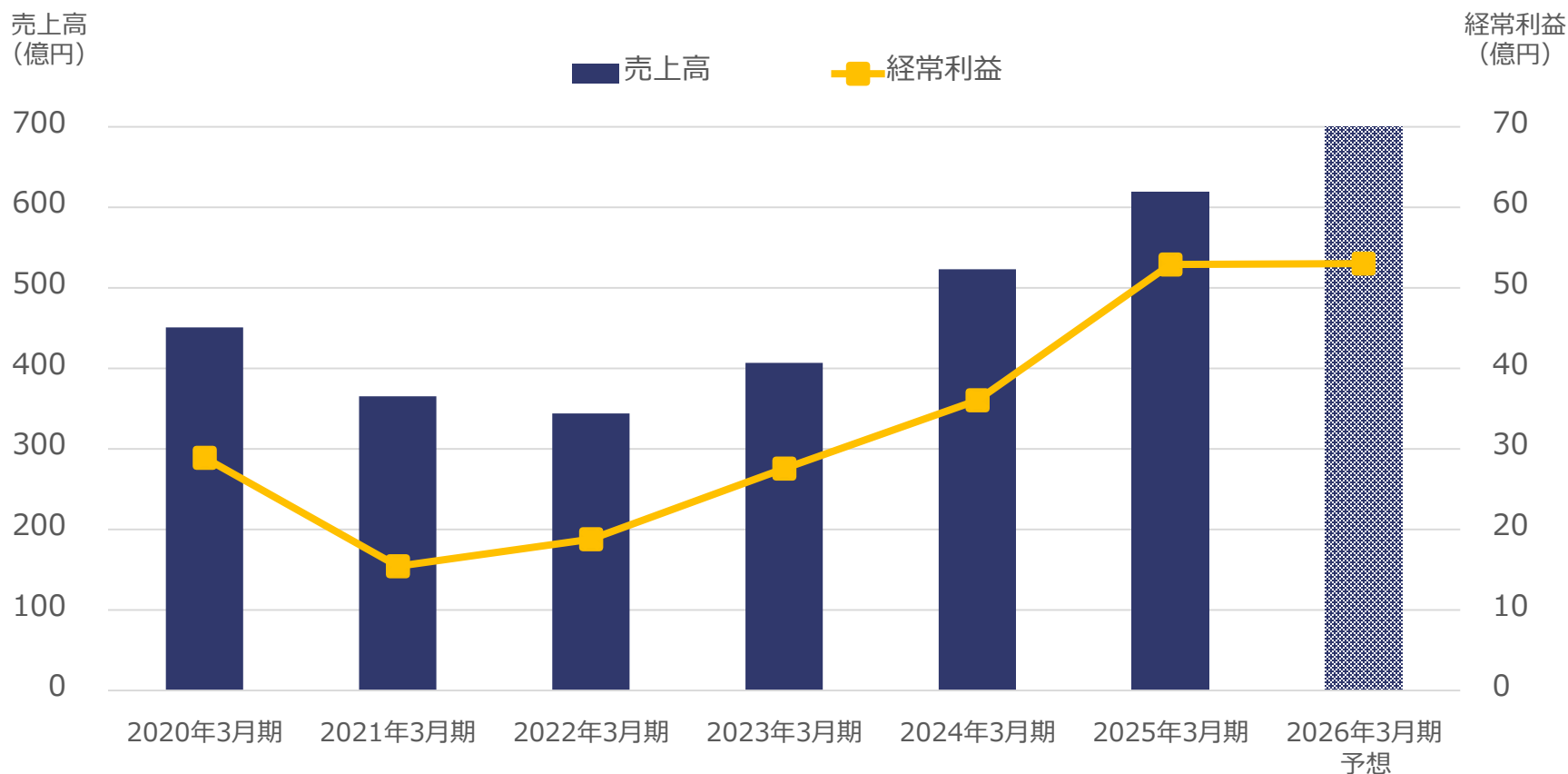
業績概要

- 2025年3月期は、国内外の遊戯機械事業での受注拡大や、舞台設備事業での仮設舞台装置向け需要を取り込み、売上高・経常利益は過去最高を更新
- 2026年3月期予想は、引き続き増収・増益を予想

	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想
売上高	523億円	618億円	700億円
営業利益	31億円	47億円	50億円
経常利益	35億円	52億円	53億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	20億円	29億円	32億円
ROE	5.4%	6.9%	7.0%

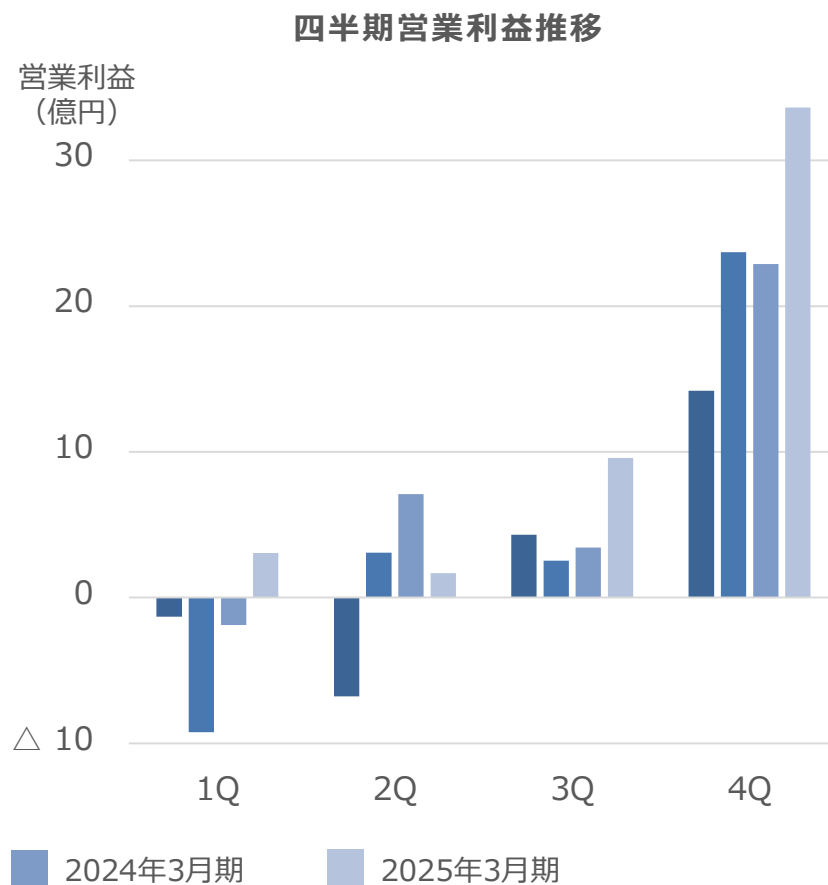
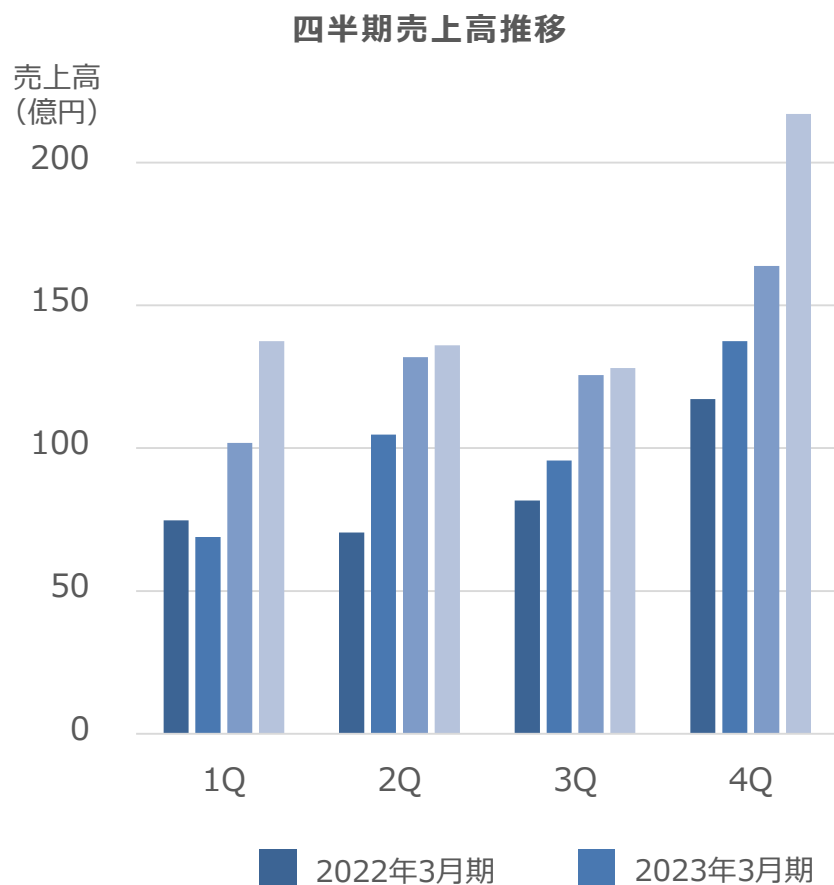
年度業績の推移

- コロナ禍の影響で落ち込んだ業績は、2021年3月期を底に回復に転じ、2023年3月期から2025年3月期まで3期連続で増収増益を達成



四半期業績の推移

- 四半期業績では、第4四半期に売上高・営業利益とも大きくなる傾向にある



お問い合わせ先

三精テクノロジーズ株式会社

<https://www.sansei-technologies.com/contact/>

